



信州青木村ふるさと景観100選

蕎麦畑に変わるころ

# AOKI 青木村 議会だより

第78号  
令和2年 8月1日発行



発行／青木村議会  
編集／議会報編集委員会  
印刷／(株)アオヤギ印刷

青木村議会へアクセス E-mail: [gikai@vill.aoki.nagano.jp](mailto:gikai@vill.aoki.nagano.jp)



青木村の明日を拓く農業青年たち(下奈良本 原地籍にて)



## 主な記事

青木村議会だより  
第78号

令和2年 第2回 定例会	2～5
一般質問	6～10
常任委員会報告	11
議会の動き	11
議会日誌・住民の声	12

## 令和2年

### 第2回定例会

令和2年第2回定例会は、去る6月10日に招集され、17日までの会期で行われました。提出された案件は報告事項13件、条例関係4件、長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約変更、農業委員会委員の選任、補正予算5件、発議1件、請願1件、追加議案として条例改正2件で、慎重審議の結果、報告事項、議案については原案のとおり可決、承認され、請願については採択されました。一般質問では、5人の議員から村政に対する意見や質問がなされました。

### 村長あいさつ (要旨)

昨年12月、中国武漢市で原因不明の肺炎が流行し、患者から新型コロナウイルスが検出されました。感染は世界中に拡大し、日本国内の累計感染者数は1万7千人、死者は900人に達しています。

未知のウイルスとの闘いの中、最前線でご尽力いただいている医療従事者の方々には、深い敬意を表します。

4月7日から5月6日まで7都道府県を対象に発令された非常事態宣言は全国に拡大され、5月25日に解除されました。村民の皆様には長期間に渡り不

要不急の外出自粛をはじめ、学校の臨時休校、保育施設のご利用の自粛など、感染拡大防止のための対策にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策の影響を受けた地域経済や住民生活の支援策については、村議会議員の皆様のご意見もいただき、国の事業に併せ、村独自の事業を実施しております。村民一人当たり10万円の特別定額給付金は、9割を超す方への給付を済ませております。これから

の社会活動の再開に向けては、新しい生活様式の実践に長期的

に取り組んでいくこととなります。引き続き、村民の皆様と共にこの難局を乗り切ってまいりたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

国道143号青木峠バイパス事業につきましては、今年度は事業予算額1億8千万円で、昨年度行った地質調査の解析と実施設計作業に着手することです。

地滑りが発生し通行止めとなっている主要地方道丸子信州新線については、県の建設事務所による11本のボーリング調査が終了しました。

岡石工業団地につきましては、4月16日に株式会社竹内製作所様と立地協定を締結いたしました。農業振興地域除外の手続き、併せて、造成工事のための実施設計中です。

村では昨年の19号台風による被害を受けて、村の「青木村地域防災力向上アクションプラン」を策定中です。

3月定例会閉会后、4月2日に保育園入園式、4月6日には青木小学校及び青木中学校入学式が挙行されました。式の内容も大幅に縮小しての開催となりました。

4月18日、五島慶太未来創造館の開館式を最小限の参加者でありましたが、無事開催することができました。

さて、本議会の議案についてであります。報告事項のうち第1号は、先の議会終了後緊急を要する案件につきまして、例年通り専決処分をさせていただいたものです。

令和元年度一般会計補正予算(第6号専決)については、歳

入歳出8941万9千円を減額し、総額を29億6231万4千円としました。令和元年度は財政調整基金の取崩しをせず健全財政を維持できました。

令和2年度一般会計補正予算(第1号補正専決)については、歳入歳出5億2583万1千円を追加し、総額を34億6383万1千円とします。特別定額給付金事業、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業、地方創生臨時交付金事業として13の事業に緊急に取り組む予算を計上しました。

令和2年度一般会計補正予算(第2号補正)については、歳入歳出4862万7千円を追加し、総額を35億1245万8千円とするもので、大雪の倒木被害によるリフレッシュパークあおき「みやぶち」の屋根修繕、要望のあった当郷・中村・殿戸・青木4区のコミュニティ活動の備品整備、GIGAスクールの構築に充てる予算を計上しました。

以上、提案しました議案のうち主な内容を説明させていただきました。

## 報告

報告第1号  
専決処分の承認を求めること  
について

青木村税条例、国民健康保険条例、固定資産評価審査委員会条例、国民健康保険条例、介護保険条例、後期高齢者医療に関する条例の一部改正と、令和元年度補正予算6件、令和2年度一般会計補正予算です。

補正予算のうち、令和元年度一般会計補正予算第6号は、歳入歳出それぞれ8941万9千円を減額し、総額を29億6231万4千円とするもので、減額の主な理由は、総務費の土地購入費1000万円の減、民生費の障害者医療給付費の実績による440万円の減、長野県後期高齢者医療広域連合負担金866万4千円の減、プレミアム付消費券事業費補助金305万4千円の減、医療材料費510万円の減、農林水産業費の森林整備事業の実績による252万2千円の減が主なものです。なお、情報通信施設等整備基金積立金として850万円の積立を行いました。

令和元年度特別会計（国民健康保険、簡易水道、別荘事業、介護保険、後期高齢者医療）に関する専決処分は、主には事業実績等による係数の整理に伴う補正でした。

令和2年度一般会計補正予算第1号は、歳入歳出それぞれ5億2583万1千円を追加し、総額を34億6383万1千円とするもので、新型コロナウイルス感染症対策のための特別定額給付金事業費のほか、地方創生臨時交付金を活用した村独自の事業に係るものです。

## 報告第2号

令和元年度青木村土地開発公社  
事業報告について

令和元年度末の未処分利益剰余金は7392万7146円となり、翌年度繰越利益剰余金として処理されました。

## 報告第3号

## 令和元年度繰越明許費繰越計算書の報告について（青木村一般会計）

昨年の台風19号被害の災害復旧に係るもののほか、琴山川河川整備工事、中村湯本地区内道路新設工事等が令和2年度までかかるた

め、繰越した事業費及び財源の計算書で、議会の承認を求めるものです。事業費は9896万7千円です。

## 報告第4号

## 令和元年度繰越明許費繰越計算書の報告について（青木村別荘事業特別会計）

昨年の台風19号被害の災害復旧工事が令和2年度までかかるため、繰越した事業費及び財源の計算書で、議会の承認を求めるものです。事業費は204万2千円です。



議案

**議案第1号**  
**青木村放置自動車等の発生の防止及び適正な処理に関する条例について**

公共の場所等に長期間にわたり放置されている自動車等について、撤去勧告や命令を行い、応じない場合は所有者等に代わり撤去し、要した費用を所有者等に請求することができる条例を制定するものです。

**議案第2号**  
**青木村税条例の一部を改正する条例について**

地方税法の一部改正に伴い、新型コロナウイルス対策における税制上の措置として、一定の要件に該当する中小事業者に対する固定資産税の軽減、軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長等の措置が講じられたことを踏まえ、条例の一部を改正するものです。

**議案第3号**  
**青木村手数料徴収条例の一部を改正する条例について**

マイナンバー制度に係る通知カードが廃止されることに伴い、手数料条例から

同カードの規定を削除するものです。

**議案第4号**  
**青木村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について**

給与法の俸給月額の設定に伴い、損害補償に係る補償基礎額の改正等をするため条例の一部を改正するものです。

**議案第5号**  
**長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更に関する協議について**

長野県町村公平委員会を共同設置する団体のうち、東筑摩郡筑北保健衛生施設組合が解散することに伴い、規約の変更を行うものです。

**議案第6号**  
**青木村農業委員会委員の選任について**

青木村農業委員会委員の選任について、議会の同意を求めるものです。

- 浜田 こそえ氏(女団連)
- 塩澤 正隆氏(中挾区)
- 堀内 茂雄氏(村松区)
- 松澤 博文氏(香掛区)
- 山田 千秋氏(入奈良本区)

- 増田 幹子氏(農業協同組合)
- 横澤 永裕氏(下奈良本区)
- 北村 彰啓氏(細谷区)
- 小林 達登氏(殿戸区)
- 北村 民雄氏(当郷区)
- 若林 忠利氏(入田沢区)
- 山浦 眞嗣氏(夫神区)

**議案第7号**  
**令和2年度青木村一般会計補正予算について**

歳入歳出4862万7千円を追加し、総額を35億1245万8千円とするもので、歳入では国庫補助金(教育費情報通信環境施設・機器整備費補助金) 1197万1千円の増、自治総合センターコミュニティ事業助成金250万円の増、財政調整基金繰入金250万円の増、学校教育施設等整備事業債400万円の増が主なものです。歳出では、総務企画課関係では大雪の倒木被害を受けたリフレッシュパークあおき食堂みやぶちの屋根修繕に330万円の増、コミュニティ備品整備275万円の増、教育委員会関係ではGIGAスクールの構築に小学校費1842万6千円の増、中学校費1697万3千円の増などが主なものです。

**議案第8号**  
**令和2年度青木村国民健康保険特別会計補正予算について**

歳入歳出1千円を追加し、総額を5億4664万6千



青木村中心街から上田方面を望む

円とするもので、新型コロナウイルスに感染した被保険者に対する傷病手当金の支出に対応するための措置をするものです。

**議案第9号**  
**令和2年度青木村別荘事業特別会計補正予算について**  
 歳入歳出149万9千円を減額し、総額を1520万円とするもので、歳入は前年度繰越金及び基金繰入金の減、歳出は工事請負費(村単工事)144万9千円の減です。

**議案第10号**  
**令和2年度青木村簡易水道事業会計補正予算について**  
 収益的支出は127万6千円を追加し、総額を2億575万7千円とするもので、公営企業会計支援委託料の増です。資本的収入は270万円を追加し、総額を3780万円とするもので、企業会計適用債120万円、工事負担金150万円の増です。資本的支出は370万円を追加し、総額を8171万円とするもので、歩道拡張工事に伴う水道管布設替え工事の増です。

**議案第11号**  
**令和2年度青木村特定環境保全公共下水道事業会計補正予算について**  
 収益的収支は127万6千円を追加し、総額を2億495万8千円とするも

ので、公営企業会計支援委託料の増です。資本的収入は160万円を追加し、総額を1億7439万4千円とするもので、企業会計適用債120万円、工事負担金40万円の増です。資本的支出は、49万9千円を追加し、総額を1億8937万4千円とするもので、歩道拡張工事に伴う下水道管布設替え工事の増です。

**発議**

**発議第1号**  
**地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について**  
 国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、一般の会社員、公務員と同様に厚生年金へ地方議会議員が加入できるように、政府及び国会に対し意見書を提出するものです。

**請願**

**請願第1号**

「種苗法の一部を改正する法律案の慎重審議を求める意見書」の提出を求める請願について  
 ブランド品種の海外流出

による権利の侵害を防ぐとともに、登録された品種を許可なく栽培者が自分で増殖させることを禁止する改正案について、慎重審議を求める意見書を提出する請願です。

**追加日程**

**議案第12号**  
**特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例について**  
 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済は急速な悪化が続いており、こうした情勢を踏まえ、令和2年7月から令和2年12月まで、村長の給料月額を10%、教育長の給料月額を5%減額するものです。

**発議第2号**  
**青木村議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について**  
 議案第12号と同様の理由から、同期間、正副議長の報酬月額を15%、委員長・議員の報酬月額を1%減額するものです。

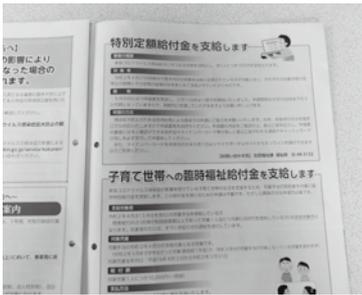
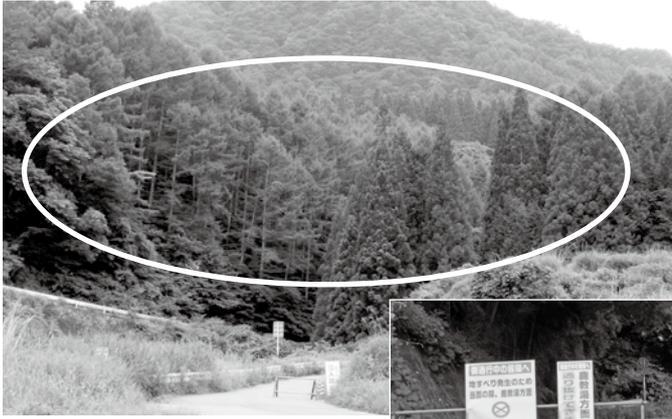
**議案の議決結果**

○賛成 ●反対 △保留

報告・議案・請願陳情	宮入	坂井	松澤	金井	宮下	沓掛	居鶴	小林	堀内	山本	結果
報告第1号 専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
報告第2号 令和元年度 青木村土地開発公社事業報告について	○	○	○	○	—	○	○	△	○	○	可決(賛成多数)
報告第3号 令和元年度 繰越明許費繰越計算書の報告について(一般会計)	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
報告第4号 令和元年度 繰越明許費繰越計算書の報告について(別荘事業特別会計)	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第1号 青木村放置自動車等の発生の防止及び適正な処理に関する条例について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第2号 青木村税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第3号 青木村手数料徴収条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第4号 青木村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第5号 長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更に関する協議について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第6号 青木村農業委員会委員の選任について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第7号 令和2年度 青木村一般会計補正予算について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第8号 令和2年度 青木村国民健康保険特別会計補正予算について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第9号 令和2年度 青木村別荘事業特別会計補正予算について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第10号 令和2年度 青木村簡易水道事業会計補正予算について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第11号 令和2年度 青木村特定環境保全公共下水道事業会計補正予算について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
発議第1号 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
請願第1号 「種苗法の一部を改正する法律案の慎重審議を求める意見書」の提出を求める請願について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	採択(全員一致)
議案第12号 特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
発議第2号 青木村議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)

※議長は採決に加わりません。

県道丸子信州新線(沓掛釜房)豆石峠地滑り箇所と通行止め看板



青木村広報6月号に掲載された特別定額給付金のお知らせ



松澤 正登 議員



※議員名の下にQRコードの読み込みで、各議員の一般質問音声データにつながります。

# 第2回 青木村議会定例会 一般質問

## 1、新型コロナウイルス感染症対策について

## 2、国道、県道の改良工事及び災害復旧工事について

### 1 新型コロナウイルス感染症対策について

**(問)** コロナウイルス感染症に対する村長の所感は。

#### 村長答弁

世界的レベルで見ても、本当にこれ(新型コロナウイルス)を超えるような、あるいは、人類にとって数百年に一度のような危機にいる。命と暮らしを守り、社会、経済、教育などの維持を図っていかねばならない。私どもも大変な命題の中にいるといふふうに思っている。

**(問)** 特別定額給付金の給付について。

#### 村長答弁

6月11日時点での合計申請件数は1685件、うち支払い済みが1667件で、件数では96・1%。人数では96・4%の人が申請済みだ。これからも電話連絡等の方法で説明をして、すべての方々に早期に支払いができるよう努めていく。

**(問)** 新しい生活様式の徹底が新たな感染予防に有効と考えるが。

#### 村長答弁

活動を自粛し、人と人との接触を可能な限り減らせれば、流行をぎりぎりのところで収

束させることができることを学んだ。あらゆる機会でも3密への対応をお願いする。また、村が主催する行事・会議も新しい生活様式を徹底したい。

**(問)** 避難所の感染対策と災害への備えは。

#### 防災危機管理監答弁

感染症対策として新しい生活様式を踏まえた避難所の運営が必要で、感染予防の観点から密集とならないための工夫、飛沫感染の予防のためのパーティションの設置、収容人員を考慮した新たな避難所の指定、親戚や友人宅、自宅内での避難についても検討し、必要な避難所の拡大に取り組んでいく。今後の事業として、地域防災計画の見直し、防災力向上アクションプランの策定を考えている。地方創生交付金の活用で対応していく。

**(問)** 児童生徒の学力の遅れや今後の授業の進め方について。

#### 教育長答弁

小・中とも一通りの学習を総ざらいして、支援が必要な子どもには支援員の先生に個々に見てもらったり、放課後に指導を行ったりして学習の定着を図っている。今後の授業は、小・中学校と

も1時間を40分として、1日7時間の学習を行う。

**(問)** デジタル機器をこれから学校外でも活用していくのか。

#### 教育長答弁

2波・3波に備え、オンライン学習を利用したり、休校に備え予習的な学習を子どもたちが自ら行えるよう指導したりしていく。

### 2 国道、県道の改良工事及び災害復旧工事について

**(問)** 青木新トンネルの進捗状況及び豆石峠の地滑り対策と道路の復旧工事の状況は。

#### 村長答弁

昨年度は、地形測量、ボーリング等の地質調査を実施した。現在そのまとめを行っており、解析結果を踏まえて、今年度はトンネルの詳細設計に着手する予定だ。村としても事業の推進に全力で協力したい。

#### 建設農林課長答弁

地下水を下げる工事に着手している。地滑り対策工事を進めるとともに、安全が確保された後に、県道災害復旧工事を実施する予定だ。県に早期開通を要望するとともに、村民への情報提供に努めていく。



休校による影響が大きかった小・中学校



診療所西側に設けられた発熱外来用特設テント



## 堀内 富治 議員



## 1、村として、新型コロナウイルス対策の状況、医療体制の確保、児童・生徒への影響

## 2、認知症の状況と取り組み

## 1 村として、新型コロナウイルス対策の状況、医療体制の確保、児童・生徒への影響

**(問)** 世界中の大きな出来事で、未だ感染者も多く、注目している。細かな情報収集もあり、村長を筆頭に、教育長、関係課長には、光が見えぬなか、大変ご苦労頂いた。現在まで行ってきた緊急対策について、どのように考えているか。

## 村長答弁

お互いに経験したことのない暗中模索の中で、新聞、テレビ等を深読みをしたり、感染の先行する地域や自治体の情報を得る努力をしたりしてきた。議会、小、中学校等とも、細かく対応してきたが、特別な事項だけに、反省点も数多くある。今後の第2波・第3波に備え、村民の皆さんの意見を聞いたり、役場内の総括をしたりしていきたい。

**(問)** 人の動きは静かになり、村の活性化について今後はどのように考えていくか。

## 村長答弁

事件前と比べると人間関係や行動も変わっていると考えられる。風呂(3カ所)の利用など元気な姿に戻っていない。自分が感染源になりたく

ないという意識がある。今後観光PR等に向け、事業の活性化を図り、小さな村ながら努力していきたい。

**(問)** 一般病院の通院患者の心配をしたり、調べてみたりした。医療機関の状況と公共施設の利用状況は。

## 村長答弁

一般病院の関係はあまり問題なく行動されている。村の施設の利用については、現在は少な目に動いていることが見受けられるので、更に活発に会館等の利用を期待し、進めたい。

**(問)** コロナウイルスの件は、的確な対応をしている。厳しい取り組みとなるが、しっかり進めてほしい。

## 村長答弁

厳しい内容だが、小さい村ながら努力をしていきたい。  
**(問)** 新型コロナウイルス対策では、住民生活への対応や、商・農・工業の支援のほか教育面の影響も大きな課題と感じているが、どのように考えるのか。

## 教育長答弁

休校に伴う不足の授業数は150時間程度であり、10月頃には回復できる見込みだが、子ども達の疲労の様子や

体調を見ながら柔軟に対応していきたいと考えている。

教育面では長野県は比較的落ち着いているので、この状態が続けばみんなの努力で取り戻せると考えている  
9月入学は実行できそうもない状況だと思う。

## 2 認知症の状況と取り組み

**(問)** 村の将来を考えると、認知症問題は、極めて深刻である。青木村全体の状況はどうか。

## 住民福祉課長答弁

令和2年度6月1日時点で、介護保険認定者320人で、このうち認知症の診断者は、104人で、34.4%になる。介護度の重度化に伴い、その割合が高くなり、介護度3以上の方は、54人になる。全認定在宅者は11人。ひとり暮らしはいない。施設利用者は増加している。

## 住民福祉課長答弁

**(問)** 青木村内の入所の内容は。認知面の関係で、現在青木村からは12名で、3割だ。村の認知症グループホームへは9人が入所されている。今後、健康で元気な体づくりに力を入れる。



## 山本 悟 議員



### 1、新型コロナウイルス対策について



休校中、オンライン学習する中学生



非接触型体温計

### 1 新型コロナウイルス対策について

理事者はもとより、職員の皆様には、昨年秋季の台風19号「令和元年東日本台風」の対応、また、定例会における一般質問の人数、時間、傍聴者、会議出席者、会期の短縮等ある中で、いつもと変らぬ対応に感謝する。

人類は、アフリカから世界各地へ、ウイルス、疫病等で大きな犠牲を払いつつ、歴史、文化、気候や風土、習慣を乗り越え進出したとされる。コロナと言えば車名の「コロナ」や法定伝染病であった半世紀以上前の「赤痢」の生体検査を思いだす。重要事項は別として、同僚議員と重複しないように伺う。今回の非常・緊急時に活動を控え、首長に「任せる」状況が続けば、議員の存在理由が薄まりかねないので、要点をまとめて質問する。

**(問)** 今まで青木村として、国・県と協力して対応したことについて、簡単に。

#### 村長答弁

コロナ防止について、村だけではできないことも多く、付き合いのある上田広域連合や医師会とも情報交換し

ている。隣接の筑北村とは、本件について話したことはない。商工会は、商工業の皆さんの窓口になっている。国、県、金融機関との繋がりも深めた。診療所、ラポートあおきには、マスク・消毒液の補充をした。

**(問)** 上田市等では、融資等を独自にしているようだが、村としての単独事業は。

#### 村長答弁

心配なのは「デフレ」だが、前回議会会で決めてもらった「地域消費券」の発行や「持続化給付金」等によって、応援していきたいと考えている。

**(問)** 第2波、3波が考えられるが、対応は。

#### 村長答弁

100年前のスペイン風邪ではないが、致死率が高く1%台から、5%台になっている。気をつけなくてはいけないと痛感している。

**(問)** 県条例については。

#### 村長答弁

「3密」や、「3取る」という言葉もあるが、注意をしなければならぬ。学校では、電気代を気にせず、窓の開閉を頻繁にしてほしい。

**(問)** 教育について、今までの

してきたこと、これからしようと思うことは。

#### 教育長答弁

学力保障については、休校中は予習的学習を中心にを行った。また、中学生全員にIDを配った。児童センターを開け、小学校では支援の先生に勉強をみてもらった。担任の先生には、プリントを作り、家庭訪問、電話連絡で、実態把握に努めてもらった。

環境整備については、中学校の給食の先生方を中心に、子ども達全員のマスクを手作りしてもらった。更に消毒液と、体温計を6台ずつ配付した。2波、3波が心配なので、ICTの活用を進めている。

小中学校とも、分散登校を行い、補充的な学習を行ってきた。感染経路や、濃厚接触者の状況をしっかり把握して、休校を避けるべく、柔軟な対応を行っていきたい。リスクを可能な限り低減し、段階的に教育活動を開始したいと思う。



〈新型コロナ対策〉

保育園・小中学校の水道蛇口を自動水洗に！  
学校給食費無償化、村費教員加配で過密学級解消を！



## 坂井 弘 議員



### 1、新型コロナウイルス感染症対策について

### 2、米軍機の低空飛行ならびに自衛隊への名簿提供問題について

#### 1 国の二次補正予算を活用し、更なるコロナ対策を

**（問）** 特別定額給付金10万円の給付が迅速に行われたことに感謝する。地方創生臨時交付金事業を早められなかったか。

#### 村長答弁

定額給付金を最優先した。

**（問）** 小中学校の給食費の無償化を考えてはどうか。

#### 村長答弁

年間2580万円の予算が必要になる。大変厳しい。

**（問）** 村内の医療、福祉機関への支援も必要ではないか。

#### 村長答弁

医療グッズを提供した。大きな支援が必要な状況になつたら議会に相談する。

**（問）** 子どもを中心に教育課程の組み直しを考えているか。

#### 教育長答弁

体力・集中力・様子を見ながら、柔軟に考えていきたい。

**（問）** 小学校では5年生が最も過密になっている。村費加配によって学級を二つに分ける必要がある。

#### 村長答弁

教育委員会から相談があれば検討したい。

**（問）** 小中・保育園等の水道の自動水栓化を考えてはどうか。

#### 教育長答弁

小中で300万円必要になる。

**（問）** 休校中のオンライン学習の問題点をどう解消するのか。

#### 教育長答弁

研究中であり研修も進める。

**（問）** 休校によらない方向性も考えるときではないか。

#### 教育長答弁

丁寧に柔軟に考えたい。

**（問）** 上田広域にPCR検査センターを増設する考えは。

#### 村長答弁

丸子中央・依田窪・東御・鹿教湯等の各病院でも、必要なPCR検査を実施している。

**（問）** 感染拡大防止とともにプライバシー保護をどのように進めるのか。

#### 住民福祉課長答弁

村民への正しい周知、人権への配慮に気をつけたい。

**（問）** 文化会館等の利用の際、感染対策として参加者名簿の提出を強制することはないか。

#### 教育長答弁

文化会館等では名前は書いてもらっていない。体育館についてのみ、使用者名簿を出してもらっている。

**（問）** 緊急事態対応に対する基本的な考え方は。

#### 村長答弁

行動様式は過剰な制限は行わなければならないが、バランス

の取り方が難しい。

#### 教育長答弁

自由権や社会権、教育を受ける権利を大切に考えていく。

#### 2 頻発する米軍機の村内低空飛行

**（問）** 米軍機の村内低空飛行の実態を村として把握し、危機管理を行っているか。規制する国際法や法律はないのか。

#### 防災危機管理監答弁

国際民間航空機関の定めや日本の航空法による最低高度基準に基づいて飛行していることになっている。村内上空は300mが適用になる。

#### 村長答弁

自衛隊上田地域事務所から「防衛省として苦情内容を米軍側に伝え、住民に与える影響を最小限にとどめるよう求めている」とする回答があった。県と市町村が共同して国へ要請している。日米地位協定の見直しについては全国知事会から提言がなされている。

**（問）** 昨年6月議会で、自衛隊への名簿提供問題に対し「今後の提供については関係者、相手方とも相談したい」と答弁があった。その後の改善は。

#### 総務企画課長答弁

三年間コピー貸与してきたが、今年は見聞の形で対応した。今後も同様とする。



# 宮入 隆通 議員

## 1、新型コロナウイルスの対応策について



新型コロナウイルス対策での飲食業支援で  
タチアカネGOが活用されることを期待する。  
(画像は広報あおきより)

**新型コロナウイルス感染症が流行下での大雨・洪水時の避難について**

自分に合った避難の確認を！ 災害の危険が迫れば迷わず避難！

前風や大雨降時に、あなたがとるべき避難行動を確認していきましょう！

- ① ハザードマップで自宅の場所を確認！
- ② 自宅の場所が特色化されている
- ③ 避難に特別な方法があるか？(例:高層の方、林の手自由の方等)
- ④ 安全な場所に住んでいるか、避難や他人宅に身を寄せられるか？

避難の際お持ちください 避難先でのお願い

マスク 体温計

- ①手洗い
- ②マスクの着用
- ③毎日の健康チェック

避難場所・避難所の感染症対策を進めています

長野県危機管理部・青木村

災害時の避難所での感染症対策が求められている。  
(長野県防災リーフレットより)

### 1 新型コロナウイルスの対応策について

**(問)** 新型コロナウイルス感染症の影響の下での持続可能な村政とは。

#### 村長答弁

従来からの少子高齢化などの様々な課題に加え、新たに感染拡大の防止という戦後日本社会において未曾有の試練の中に立たされている。解決するには、地域に住む人々の力の結集、他の自治体との連携、関係人口、交流人口の拡大などが大事だ。持続可能な点では出生率を下げない努力をさらにしなければならぬ。

**(問)** 群発地震、火山性地震など心配だ。台風も季節も来る。新型コロナウイルスとほかの水害・地震などとの災害時の対策は。

#### 村長答弁

感染防止と災害からの避難をしなければならぬ。指定避難所で3密にならない対策は大事だ。

**(問)** オンライン授業の教員向けの指導方法の教育を早急にする必要はないか。

#### 教育長答弁

小中学校では民間のソフトを利用したオンライン学習を行っている。全教員対象の県

の研修に青木村も参加する。

#### 商工観光移住課長答弁

商業関係では、県支援の対象となった宿泊業・飲食業に対して村独自で10万円の上乗せ給付のほか、3種類のプレミアム消費券を発行する。商工会費を全額村負担するなど進めている。

#### 建設農林課長答弁

農業関係では、販売農家に対して給付をする事業を実施している。役場職員で花の購入支援を行った。

#### 総務企画課長答弁

「タチアカネGO」を借りたいという相談はなかった。商工会で代表して借りてもらうなど想定している。

#### 総務企画課長答弁

テレワークと移住をセットで考えるべきではないか。

#### 商工観光移住課長答弁

インターネット環境は整っている。青木村で暮らす支援策として定住促進応援事業補助金とともにテレワークをセットで考えている。

#### 総務企画課長答弁

自分たちの命は自分たちが

で守る必要がある時代だ。農業に対する考え方も、今まで以上に命を守るといふ観点で考える必要があるのではないか。村内の食料自給率を上げる必要はないか。

#### 建設農林課長答弁

食料自給率を上げるには、地産地消の取組を進めることが大切だ。

#### 村長答弁

道の駅があるということが自給率を上げる1つの重要なポイントだ。

#### 総務企画課長答弁

地域公共交通の対応は。村営バスについては、セミデマンド方式から、よりきめ細かい対応ができるような方向を考えて実証運行をしていきたい。

#### 総務企画課長答弁

役場内でもテレワークを検討してはどうか。

#### 総務企画課長答弁

セキュリティなど課題があり、引き続き検討をしておく必要がある。

#### 総務企画課長答弁

イベント中止など影響が出ているが、会議システムなどを活用する考えはないか。

できることから活用していく考えはあるが、セキュリティの課題もあり、検討が必要だ。

# 常任委員会 報告

## 総務建設産業委員会

委員長 堀内 富治

会議規則第74条の規定により、委員会審査報告をする。総務建設産業委員会に付託された請願第1号「種苗法の一部を改正する法律案の慎重審議を求める意見書の提出を求める請願」について、6月12日に開催した委員会審査の報告。

慎重審議の取扱い等についての質疑のほか、優良品種の海外流出を守る一方で、農業者の自家増殖権が明記されていないこと等による農家負担の増に対する懸念、国民の十分な理解が得られていないなどの意見があり、法改正の慎重審議を求める本請願は、全員賛成にて採択すべきものとすることに決定した。以上、委員長報告とする。



新型コロナウイルス感染症対応のため開催された全員協議会



### 上田地域広域連合議会 会臨時会

上田地域広域連合議会臨時会が5月22日に丸子自治センターに於いて開催されました。

この臨時会では、上田市議会の改選と東御市選出議員の欠員による選出議員の報告があり、議長には上田市議会議長の土屋勝浩氏が選任され、東御市長の花岡利夫氏が副連合長に再任されました。

続いて、土屋陽一広域連合長の挨拶があり、提出された2議案について審議されました。

- 一、上田東北消防署水槽付消防ポンプ自動車の購入
- 二、依田窪南部消防署高規格救急自動車の購入

2議案とも常任委員会に付託審議された後、可決されました。  
(宮下 壽章)

### 青木村及び上田市共有 財産組合議会臨時会

さる5月29日、令和2年組合議会臨時会が青木村役場で開催されました。上田市議会議員の改選によるもので、案件は、

- 1、副議長の選出について
- 2、監査委員の選任について

2件の人事案件で、慣例により副議長に上田市議会議員の井澤毅氏が、また、監査委員に金井清一氏が選任されました。以下、議会構成は次の通りです。

議長	小林 和雄
副議長	井澤 毅
監査委員	金井 清一
議員	居鶴 貞美
〃	石合 祐太
〃	尾島 勝
〃	小林 隆利
〃	南波 清吾
〃	松澤 正登
〃	沓掛 計三

(居鶴 貞美)

# 青木村議会日誌

## 5月

- 8日 / 全員協議会
- 11日 / 上田地域広域連合議会代表者会議(議長)
- 22日 / 上田地域広域連合議会臨時会(正副議長)
- 26日 / 青木麻績新町間期成同盟会監査(議長)
- 29日 / 例月監査(監査委員)
- 29日 / 青木村及び上田市共有財産組合議会(財産組合議会議員)

## 6月

- 4日 / 議会運営委員会(議会運営委員)
- 10日 / 第2回定例議会
- 12日 / 議会一般質問  
総務建設産業委員会(総務建設産業委員)
- 16日 / 議会審議採決
- 30日 / 例月監査

## 7月

- 7日 / 議会報編集委員会(議会報編集委員)
- 8日 / 上田市青木村間丸子信州新線期成同盟会監査  
(総務建設産業副委員長)
- 16日 / 全員協議会
- 20日 / 全員協議会
- 17日 / 議会報編集委員会(議会報編集委員)
- 30日 / 例月監査(監査委員)

## 8月 今後の予定

- 21日 / 県町村監査委員研修会(監査委員)
- 26日 / 青木村及び上田市共有財産組合議会会計決算審査  
(財産組合議会監査委員)
- 28日 / 例月監査(監査委員)

## 住民の声



### 災害に於ける長野県民の姿勢

上原美智子

私がこの村に移り住んでから7年の月日が経ちます。和やかで自然豊かな環境と、そこに息づく人々との交流に支えられ現在に至っております。大きな災害も無く人々にとっては恵まれた土地環境と言えるところです。昨年の台風19号で報道を賑わせた千曲川の氾濫では、多くの方が辛い経験をなさったと思います。私もその夜は不安と恐怖で朝まで寝ていかなかったと思います。

我家には2匹の猫がおります。2匹の猫をそれぞれのケージに入れ、リュックには着替えと毛布、バックには少しの食品と飲料を、身動きがとれない程の荷物をやっことさ持ち、雨合羽を着せた孫の手を引いて玄関を開けた途端、あまりの強風に唾然としたのを覚えています。木の葉や枝が容赦なく雨と共に吹き付け、このままでは避難所までたどり着けないと思い、避難を断念したものでした。

翌朝から連日、ニュースを見る度に被害を受けた土地や家屋、被災した方々の苦悩を知り、心が傷んだものでした。けれど、私がこの災害で一番強く感じた事、それは被災者の方々の心の強さと思いやりました。被害に対しての行政に対する不平不満など愚痴る事なく自らの手で、近隣の方達とタッグを組み、チャッチャと片付け作業をしている姿を見て、(他県と比べ)長野県民の力強さを感じたものでした。自衛隊と自治体と国民の三位一体の協力的体制がこれ程うまく合致したのは長野県が初めてではないでしょうか。国や県に何かを求めるのではなく、まず自分から動き始める。この県民性には心から敬意を表したいと思えました。さあ、これから地球環境は益々変貌し、昨年並みの大型台風に備えていかななくてはなりません。私の様に避難を断念し、結果、被災してしまつたら…。そう思うとお年寄りや小さなお子様が居る家庭では、早目に車で避難できる広い場所を設置して頂けると助ります。新型「口ナウイル」の件もあり、車で待機出来る場所、そして車中でも不便と危険が無い様を考えていく事が大事だと思います。

## 編集後記

皆さんにとっての幸せな暮らしとは何でしょうか。何でも昨日より今日、今日より明日が100%以上であることを目指してきたのではないのでしょうか？今までの100%の位置を少し変えることで今の70%や80%でも満足できます。そうすると今までの100%は特別なものとなります。これは我慢するものではなく考え方のことです。状況は同じでも考え方によって幸せにも不幸にもなります。幸せに生きていくために自分の満足するラインを少し下げてみると穏やかな暮らし方をすることが出来ます。これがこれからの時代を幸せに生きていく方法ではないでしょうか。(T・M)

## 議会報編集委員会

- 委員長 坂井 弘
- 副委員長 宮人 隆通
- 委員 松澤 正登
- 委員 金井とも子
- 委員 沓掛 計三
- 委員 居鶴 貞美